



加島 春來

## はじめに

色彩治療は加島春來会長（以下会長）が発案された治療法です。会長は鍼灸師として開業していた頃から、東洋医学理論である黄帝内経素問靈樞の五行色体表に興味を示され、腎臓が悪くなると肌が黒く変色したり、肺が悪ければ肌が白くなるなど色と病気の研究を研究しておりました。各病気に対応する色は何だろう？色が染色された布をツボに置いてみるとどうだろう？と日々研究に没頭していたのです。

ある日、頭痛の患者様が来院されました。その方は様々な治療院・病院に行っても治らず、処方されたあらゆる薬を服用しても治らない。手の打ちようがないと諦めかけており、すぐる気持ちで会長に尋ねました。その時、会長は頭痛に対する色の研究がまとまっており、この機会に色で治療してみようと思いつきました。

人の中指の先端は脳のブロードマンから全体のツボを表しております。

その中指に頭痛に対する色である茶色い布を巻いてみました。

すると、一瞬で患者様の眼の色が変わり驚いた表情で「先生！！頭痛が消えました！全然痛くありません。何をしたんですか？」と嬉しさと同時に、驚きを隠せずにいたのです。

これには患者様は勿論、会長自身非常に驚きました。

これにより色で病気は治ると確信し、更なる研究に励み色彩治療を作り上げてきたのです。

1997年に加島色彩研究所を設立。1998年国際色彩診断治療研究会を設立。現在は国内で会員数約300名おり、中国・韓国・台湾・アメリカ・ヨーロッパ諸国など海外でも色彩治療を行っている先生が多数おられます。特に韓国支部は会員が100名以上おり、韓国の京畿医科大学長は色彩治療を強く推薦しておられ積極的に活動しております。

## Profile

加島 春來 先生  
国際色彩診断治療研究会 会長  
加島色彩研究所 院長

### 【 著書 】

1998 年 これが 21 世紀の医療だ！  
驚異のカラー治療 出版



※現在、絶版となっております。

1930 年 愛媛県松山市に生まれる。

1946 年 8 月、満州国鞍山市より引き揚げ、東洋針灸専門学校後、所沢市狭山ヶ丘で針灸院開業。

1975 年 株式会社東洋医学健康センター代表取締役。

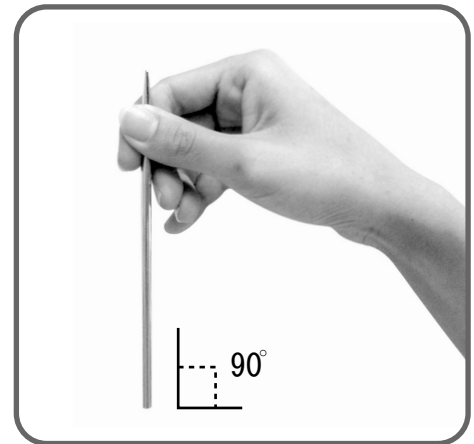
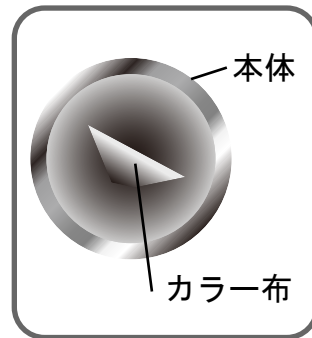
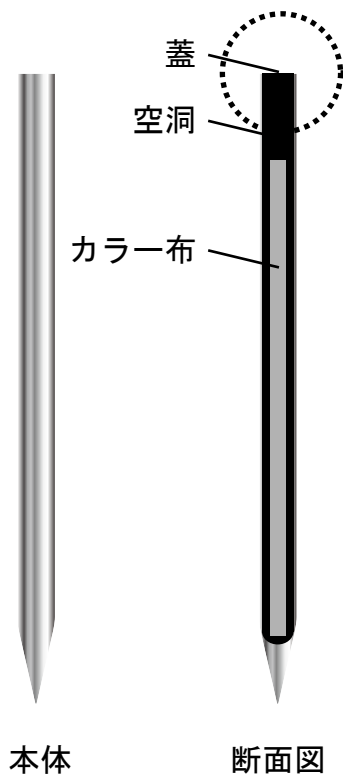
1997 年 加島色彩研究所設立。10 月、バイ・デジタル・オーリン グテスト国際学会で色彩診断治療に関する研究成果を発表。

1998 年 11 月、「国際色彩診断治療研究会」を設立。現在に至る。全日本針灸学会会員

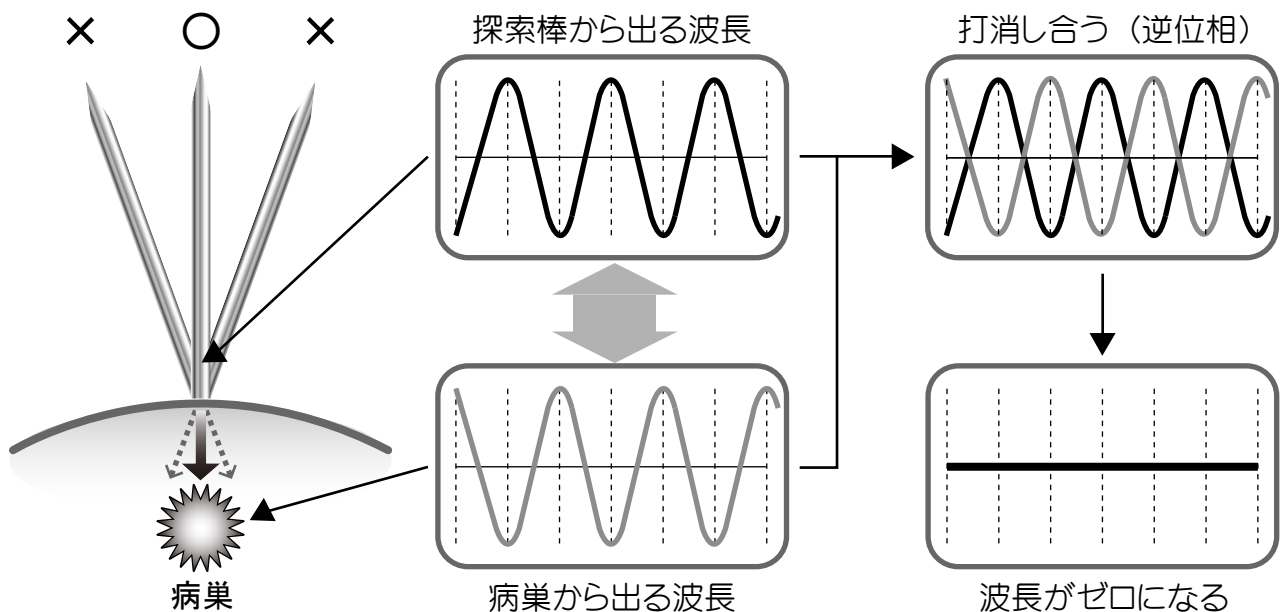
# 1

## 探索棒とは

探索棒とは治療穴を探索する治療器具となっております。15cmの長さで出来ており、アンテナの感度としては最適な長さで構成されております。



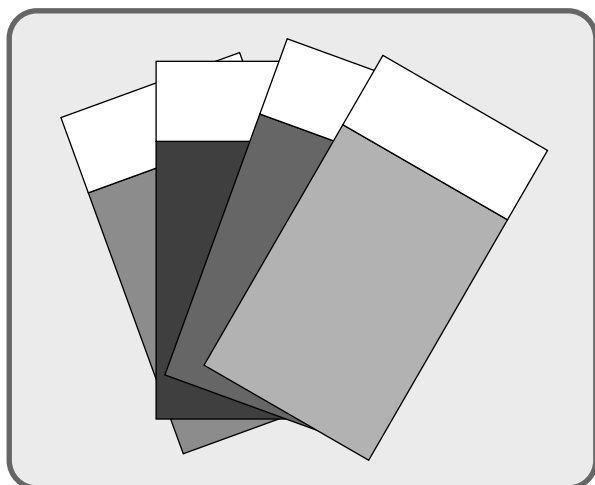
この長さは色から出る周波数＝波長を集約し探索棒の尖端から直線的に波長を出す性質となっております。会長と研究会の理事10名、松下電器研究者2名と電磁波を完全に遮断した電波暗室で試行錯誤され完成した色彩治療を行うにあたり無くてはならない治療器具となっております。



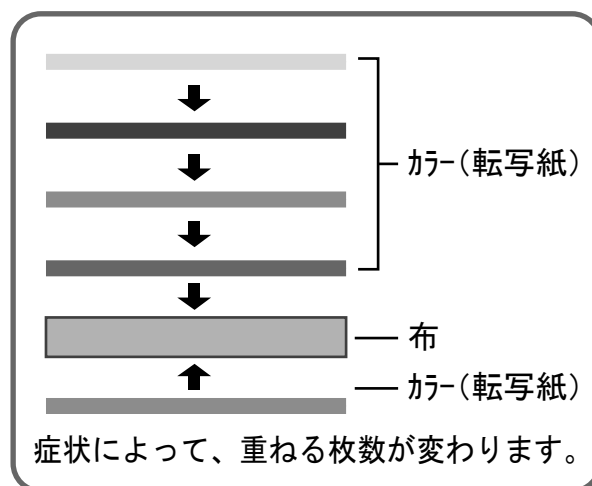
## 2 色彩布とは

色が転写紙により染色された布となっております。磁石・金属等は一切混入されておりません。この布を約 1.5mm の大きさに切り取り、シールに貼付し皮膚に接着していきます。貼付場所はツボ・患部直接です。布を貼付するだけなので刺激痛、副作用は無く各年代の患者様に適応可能となっております。

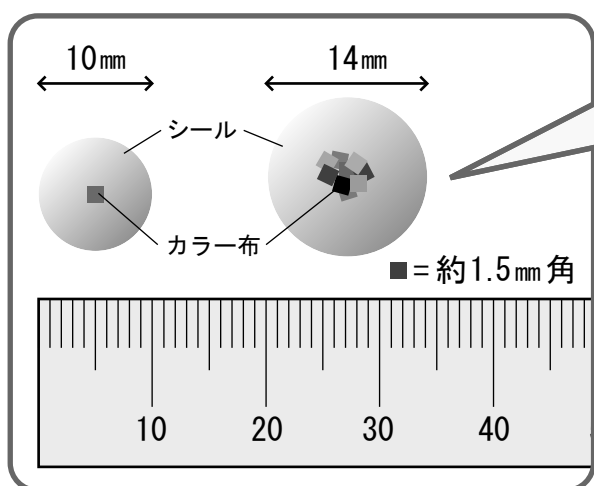
カラー布



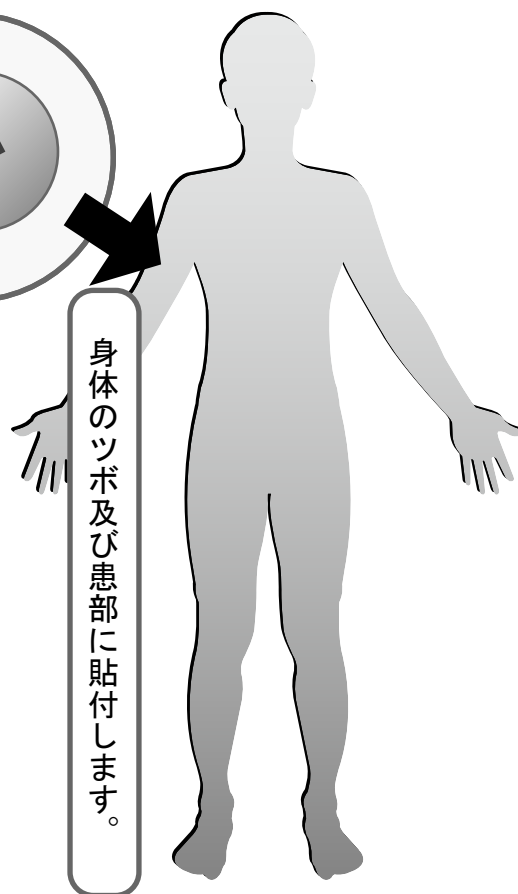
カラー布の構図



カラー布とシールの使い方



パワーテストで反応したカラー布を、  
上記サイズにカットしてシールに貼ります。



## 3 色彩治療における検査法



探索棒を使ってどの様にしてツボ・患部を選定するのか？これはパワーテスト法を用いて検査します。パワーテストは片手で親指と人差し指でリングを形成し、他者がリングを開くように両サイドから引きます。

開く開かないで適合可否を判断する検査法です。

パワーテストは示指の位置を母指指紋中央部に置くものであります。会長と松岡白菫先生が5%ブドウ糖溶液を使い様々な実験を行った結果完成した検査法であります。

国際色彩診断治療研究会の会員はパワーテストを主に使用し検査するようにしております。



OPEN



CLOSE

## 4

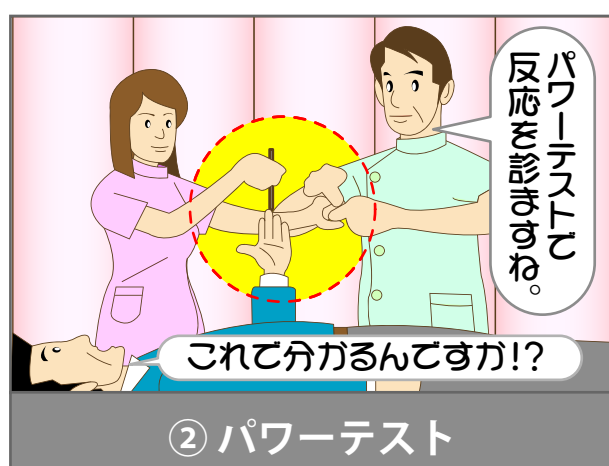
## 治療手順

現在探索棒の種類は15000種類以上あり、細胞、遺伝子、素粒子、クオークなど存在するあらゆる物質を色に変換し各疾患に適応することが可能となっております。問診後に患者様に適応する探索棒を選択し、適応する探索棒で疾患に対応するツボ・患部直接にマーカーで印を付けます。あとは印を付けた箇所に探索棒に対応する色彩布を貼付して治療は終了です。治療後、色彩治療は即効性がありますのでその場で効果を実感出来ます。

また、選択された探索棒には疾患名が記載されてますので、患者様の疾患の原因をお伝えする事が可能となっております。



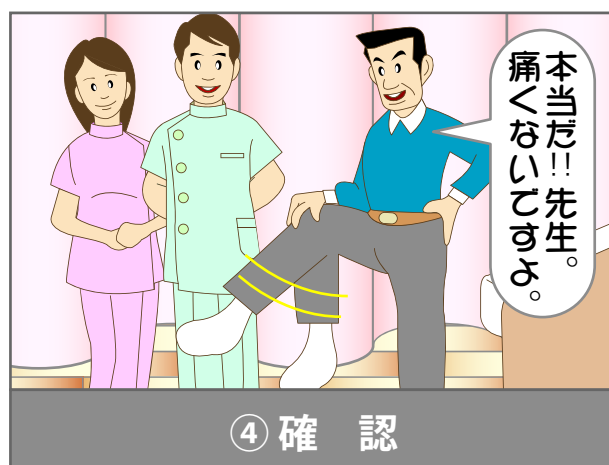
患者様がどのような痛みで、どのような症状なのかを細かく問診します。



問診に基づき、患者様の中指先端に探索棒を当てて、**パワーテスト**でカラーを選びます。



選び出されたカラーをシールに貼り、患部(ツボ)に貼付します。



即効性のある治療なので、その場で患者様に確認がとれます。





## 色彩治療の利点

色彩治療の最大の利点は**即効性**にあります。色彩治療を施されるとその場で効果を実感出来ます。全ての疾患は進行すると様々な症状を出現し苦痛を生み出します。特に痛みは人にとって1番の苦痛です。色彩治療はその苦痛をその場で和らげ、原因まで判明することが可能なのです。

他にも…

- ・布を貼付するだけなので、副作用は全くありません。
- ・施術時の刺激は一切ありません。
- ・老若男女、母子、乳児など又は動物に効果があり治療可能です。
- ・機械など一切使わない eco 医療です。
- ・場所問わず諸処で治療する事が可能です。
- ・疾患の原因を色彩治療で解明することが可能です。
- ・身の回りにある全ての物質に対し合う合わないなど適合可否を検査する事が出来ます。